

## 第1章

### 横浜市感染症発生動向調査事業の概要

## 1. 横浜市感染症発生動向調査事業

### ◆ 感染症発生動向調査とは

日本における感染症のサーベイランスシステムの1つであり、平成11年(1999年)4月から施行されている「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下感染症法)」の大きな柱として、感染症対策の基本となるものです。

感染症の発生情報を正確に把握・分析し、その結果を的確に提供・公開することとなっています。

実施主体は、国、都道府県及び保健所を設置する市(特別区を含む)と定められています。

### ◆ 横浜市感染症発生動向調査システムの概要

感染症法のもとでは、国内の感染症の発生動向を知るために、全国の感染症の発生状況を国立感染症研究所感染症情報センター(以下中央感染症情報センター)に集めて分析することになっています。各地方の感染症の発生状況は、地方感染症情報センターが収集して中央感染症情報センターに送ることになります。

横浜市では、横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課内に横浜市感染症情報センターが設置されており、横浜市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、中央感染症情報センターに報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開することとなっています。

横浜市内において収集された患者情報及び病原体情報については、衛生局感染症・難病対策課及び衛生研究所感染症・疫学情報課が事務局となり、感染症発生動向調査委員会(感染症委員会)を月1回(最終木曜日)開催し、横浜市の感染症の発生状況として分析しています。感染症委員会は、疫学等の専門家、医師会の代表、福祉保健センター及び衛生研究所の代表等をもって構成されています。感染症委員会の分析結果や感染症委員会報告等の発行物は、衛生研究所感染症・疫学情報課が中心となってまとめ、定点医療機関、医師会、関係医療機関、福祉保健センター(保健所)等に配布しています。また、市民や医療機関を対象に、横浜市衛生研究所のホームページ等を通じて情報提供をしています。

患者情報については、感染症・疫学情報課(横浜市感染症情報センター)が、横浜市全体のデータをとりまとめて国の中央感染症情報センターへ報告しています。

### ◆ 横浜市病原体調査

感染症発生動向調査事業の一環として、病原体定点で採取された検体を用いて、衛生研究所で病原体の検索を行っています。市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:5か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:3か所、の計17か所を設定しています。検体採取は、小児科定点8か所を2グループに分け、4か所ごと毎週実施し、インフルエンザ定点は特に冬季のインフルエンザ流行時に実施しています。眼科と基幹定点は、対象疾患の患者から検体採取ができた時に随時実施しています。

病原体定点からの検査検体およびその他の病原体情報については、衛生研究所検査研究課微生物部門が回収し、国の中央感染症情報センターに報告しています。また、病原体定点からの検体の検査結果については、病原体定点に直接通知しています。

\* 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/>

## 2. 感染症発生動向調査における情報の流れ(図)

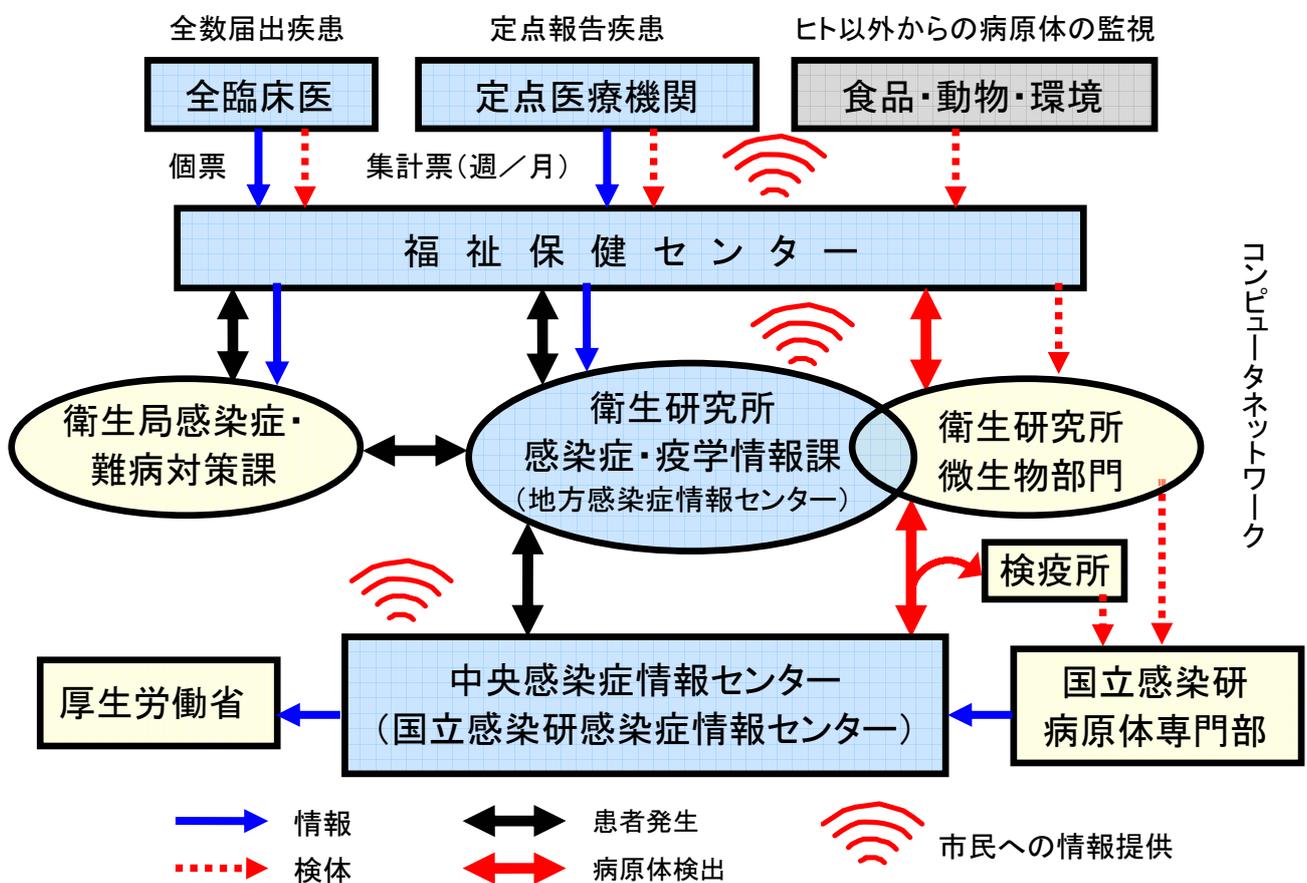
対象感染症を診断した医師は、所定の様式を用いて、医療機関を管轄する福祉保健センターに届出を行います。

届出受理センターは、内容を確認し、衛生局感染症・難病対策課と衛生研究所感染症・疫学情報課へ届出様式を送付します。

感染症・疫学情報課(横浜市感染症情報センター)が、国の中央感染症情報センターへ報告します。

収集された情報は、横浜市感染症発生動向調査委員会などで分析し、衛生研究所ホームページ等を通じて速やかに関係機関等に提供・公開されます。

### 感染症発生動向調査システム



### 3. 区別定点医療機関(表)

患者定点は、小児科定点:84か所、内科定点:55か所、眼科定点:15か所、性感染症定点:26か所(産婦人科系11、泌尿器科・皮膚科系15)、基幹(病院)定点:3か所の計183か所です。基幹定点は、内科と小児科を持つ300床以上の病院です。なお、小児科定点は、インフルエンザと小児の13感染症とを報告し、内科定点はインフルエンザのみを報告します。

病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:5か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:3か所、の計17か所を設定しています。

横浜市の人口との対比で患者定点医療機関数を見ると、人口約4万2千人あたり1小児科患者定点医療機関、人口約2万6千人あたり1インフルエンザ患者定点医療機関となっています。

区別の分布は次のとおりです。

| 区    | 患者定点  |      |      |        |          |     | 病原体定点 |      |      |          |    |
|------|-------|------|------|--------|----------|-----|-------|------|------|----------|----|
|      | インフル  |      | 眼科定点 | 性感染症定点 | 基幹(病院)定点 | 合計  | 小児科定点 | 内科定点 | 眼科定点 | 基幹(病院)定点 | 合計 |
|      | 小児科定点 | 内科定点 |      |        |          |     |       |      |      |          |    |
| 鶴見   | 6     | 4    | 1    | 2      |          | 13  | 1     |      |      |          | 1  |
| 神奈川  | 5     | 3    | 1    | 2      |          | 11  |       |      |      |          |    |
| 西    | 3     | 2    |      | 1      |          | 6   |       |      |      |          |    |
| 中    | 3     | 2    |      | 1      |          | 6   |       | 1    | 1    |          | 2  |
| 南    | 5     | 3    | 1    | 1      |          | 10  |       |      |      |          |    |
| 港南   | 5     | 3    | 1    | 2      | 1        | 12  | 1     |      |      | 1        | 2  |
| 保土ヶ谷 | 5     | 3    | 1    | 1      | 1        | 11  | 1     |      |      | 1        | 2  |
| 旭    | 6     | 4    | 1    | 2      |          | 13  |       |      |      |          |    |
| 磯子   | 4     | 3    | 1    | 1      |          | 9   | 1     |      |      |          | 1  |
| 金沢   | 5     | 3    | 1    | 2      |          | 11  |       | 1    |      |          | 1  |
| 港北   | 7     | 4    | 2    | 2      |          | 15  | 1     | 1    |      |          | 2  |
| 緑    | 4     | 3    | 1    | 1      |          | 9   |       |      |      |          |    |
| 戸塚   | 6     | 4    | 1    | 2      |          | 13  |       | 1    |      |          | 1  |
| 瀬谷   | 3     | 2    |      | 1      |          | 6   | 1     | 1    |      |          | 2  |
| 栄    | 3     | 2    |      | 1      |          | 6   | 1     |      |      |          | 1  |
| 泉    | 4     | 3    | 1    | 1      |          | 9   |       |      |      |          |    |
| 青葉   | 6     | 4    | 1    | 2      | 1        | 14  | 1     |      |      | 1        | 2  |
| 都筑   | 4     | 3    | 1    | 1      |          | 9   |       |      |      |          |    |
| 合計   | 84    | 55   | 15   | 26     | 3        | 183 | 8     | 5    | 1    | 3        | 17 |

## 4. 感染症の類型

感染症法では、感染力と、罹患した場合の重篤性に基づく総合的な観点から、一類から五類感染症に類型化し、それぞれに対して行政的な対応、措置を定めている。

### 感染症の定義・類型

| 感染症類型 | 定義と特徴  |
|-------|--|
| 一類感染症 | 感染性の疾病であって、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの   |
| 二類感染症 | 感染性の疾病であって、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの  |
| 三類感染症 | 感染性の疾病であって、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に影響を与えるおそれがあると認められるもの<br>特定の職業への就業によって集団発生を起し得るもの   |
| 四類感染症 | 人から人への感染はほとんど認められないが、動物、飲食物等の物件を介して感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがあると認められるもの  |
| 五類感染症 | 日常国内で発生しており、感染症発生状況の収集、分析を行い、その結果等に基づいて必要な情報を提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべきもの   |
| 指定感染症 | 既知の感染性の疾病（一～三類感染症を除く）であって、一～三類感染症に準じた対応をしなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるものとして政令で定めるもの（1年間に限定して指定）                               |
| 新感染症  | 人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの |

### 感染症の分類と対応

| 類型 | 疾患                   | 届出の要否       |           |               | 入院の要否         |               |               |
|----|----------------------|-------------|-----------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|    |                      | 患者<br>(確定例) | 疑似症<br>患者 | 無症状病原<br>体保有者 | 患者<br>(確定例)   | 疑似症<br>患者     | 無症状病原<br>体保有者 |
| 一類 | エボラ出血熱等              | ○           | ○         | ○             | ○<br>原則入院     | ○<br>原則入院     | ○<br>原則入院     |
|    | 重症急性呼吸器症候群           | ○           | ○         | ○             | ○<br>原則入院     | ○<br>原則入院     | ×             |
| 二類 | コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス | ○           | ○         | ○             | ○<br>状況に応じて入院 | ○<br>状況に応じて入院 | ×             |
|    | 急性灰白髄炎、ジフテリア         | ○           | ×         | ○             | ○<br>状況に応じて入院 | ×             | ×             |
| 三類 | 腸管出血性大腸菌感染症          | ○           | ×         | ○             | ×             | ×             | ×             |
| 四類 | ウエストナイル熱等30疾患        | ○           | ×         | ○             | ×             | ×             | ×             |
| 五類 | HIV/AIDS、梅毒          | ○           | ×         | ○             | ×             | ×             | ×             |
|    | その他の全数把握12疾患         | ○           | ×         | ×             |               |               |               |

| 主な対応                           | 医療体制                                |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 直ちに医師は届出<br>医療費:保険+公費          | 第一種感染症指定医療機関（都道府県知事が指定、各都道府県に1か所）*1 |
| 直ちに医師は届出<br>医療費:保険+公費          | 第二種感染症指定医療機関（都道府県知事が指定、二次医療圏に1か所）*2 |
| 直ちに医師は届出<br>公費負担なし(医療保険を適用)    | 一般の医療機関                             |
| 直ちに医師は届出                       |                                     |
| 7日以内に医師は届出<br>感染症発生状況の収集、分析、提供 |                                     |
| 一～三類感染症に準じた対応<br>適用する措置は政令で規定  | 一～三類感染症に準じる                         |
| 一類感染症に準じた対応<br>医療費:全額公費        | 特定感染症指定医療機関(国が指定、現在3か所)*3           |

\*1 平成18年3月末現在、22都府県に25医療機関(47床) 神奈川県は、横浜市立市民病院(2床)

\*2 平成18年3月末現在、神奈川県に8医療機関(72床) 横浜市は、横浜市立市民病院(24床)

\*3 成田赤十字病院(2床)(千葉県)、国立国際医療センター(4床)(東京都)、市立泉佐野病院(2床)(大阪)

| 就業制限の要否     |           |               | 健康診断<br>受診の勧<br>告・実施 | 消毒等の<br>対物措置 | 動物の<br>措置 | 建物への<br>措置、通<br>行制限等 | 積極的<br>疫学調査 |
|-------------|-----------|---------------|----------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------|
| 患者<br>(確定例) | 疑似症<br>患者 | 無症状病原<br>体保有者 |                      |              |           |                      |             |
| ○           | ○         | ○             | ○                    | ○            | ○         | ○                    | ○           |
| ○           | ○         | ×             |                      |              |           |                      |             |
| ○           | ○         | ○             | ○                    | ○            | ○         | ×                    | ○           |
| ○           | ×         | ○             |                      |              |           |                      |             |
| ○           | ×         | ○             | ○                    | ○            | ○         | ×                    | ○           |
| ×           | ×         | ×             | ×                    | ○            | ○         | ×                    | ○           |
| ×           | ×         | ×             | ×                    | ×            | ×         | ×                    | ○           |

## 5. 感染症法で規定されている感染症

### 一類感染症

|   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 1 | エボラ出血熱                              |
| 2 | クリミア・コンゴ出血熱                         |
| 3 | 重症急性呼吸器症候群(病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る) |
| 4 | 痘そう                                 |
| 5 | ペスト                                 |
| 6 | マールブルグ病                             |
| 7 | ラッサ熱                                |

### 二類感染症

|   |        |
|---|--------|
| 1 | 急性灰白髄炎 |
| 2 | コレラ    |
| 3 | 細菌性赤痢  |
| 4 | ジフテリア  |
| 5 | 腸チフス   |
| 6 | パラチフス  |

### 三類感染症

|   |           |
|---|-----------|
| 1 | 腸管出血性大腸菌症 |
|---|-----------|

### 四類感染症

|    |                           |
|----|---------------------------|
| 1  | E型肝炎                      |
| 2  | ウエストナイル熱<br>(ウエストナイル脳炎含む) |
| 3  | A型肝炎                      |
| 4  | エキノコックス症                  |
| 5  | 黄熱                        |
| 6  | オウム病                      |
| 7  | 回帰熱                       |
| 8  | Q熱                        |
| 9  | 狂犬病                       |
| 10 | 高病原性鳥インフルエンザ              |
| 11 | コクシジオイデス症                 |
| 12 | サル痘                       |
| 13 | 腎症候性出血熱(HFRS)             |
| 14 | 炭疽                        |
| 15 | つつが虫病                     |
| 16 | デング熱                      |
| 17 | ニバウイルス感染症                 |
| 18 | 日本紅斑熱                     |
| 19 | 日本脳炎                      |
| 20 | ハンタウイルス肺症候群(HPS)          |
| 21 | Bウイルス病                    |
| 22 | ブルセラ症                     |
| 23 | 発しんチフス                    |
| 24 | ボツリヌス症                    |
| 25 | マラリア                      |
| 26 | 野兎病                       |
| 27 | ライム病                      |
| 28 | リッサウイルス感染症                |
| 29 | レジオネラ症                    |
| 30 | レストスピラ症                   |

### 五類感染症・全数把握

|    |                            |
|----|----------------------------|
| 1  | アメーバ赤痢                     |
| 2  | ウイルス性肝炎<br>(E型肝炎及びA型肝炎を除く) |
| 3  | 急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)   |
| 4  | クリプトスポリジウム症                |
| 5  | クロイツフェルト・ヤコブ病              |
| 6  | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症             |
| 7  | 後天性免疫不全症候群                 |
| 8  | ジアルジア症                     |
| 9  | 髄膜炎菌性髄膜炎                   |
| 10 | 先天性風しん症候群                  |
| 11 | 梅毒                         |
| 12 | 破傷風                        |
| 13 | バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症        |
| 14 | バンコマイシン耐性腸球菌感染症            |

### 五類感染症・定点把握

|               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 小児科定点(週報)     |                              |
| 15            | RSウイルス感染症                    |
| 16            | 咽頭結膜熱                        |
| 17            | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎                |
| 18            | 感染性胃腸炎                       |
| 19            | 水痘                           |
| 20            | 手足口病                         |
| 21            | 伝染性紅斑                        |
| 22            | 突発性発しん                       |
| 23            | 百日咳                          |
| 24            | 風しん                          |
| 25            | ヘルパンギーナ                      |
| 26            | 麻しん(成人麻しんを除く)                |
| 27            | 流行性耳下腺炎                      |
| インフルエンザ定点(週報) |                              |
| 28            | インフルエンザ<br>(高病原性鳥インフルエンザを除く) |
| 眼科定点(週報)      |                              |
| 29            | 急性出血性結膜炎                     |
| 30            | 流行性角結膜炎                      |
| 性感染症定点(月報)    |                              |
| 31            | 性器クラミジア感染症                   |
| 32            | 性器ヘルペスウイルス感染症                |
| 33            | 尖圭コンジローマ                     |
| 34            | 淋菌感染症                        |
| 基幹定点(週報)      |                              |
| 35            | クラミジア肺炎(オウム病を除く)             |
| 36            | 細菌性髄膜炎                       |
| 37            | 無菌性髄膜炎                       |
| 38            | マイコプラズマ肺炎                    |
| 39            | 成人麻しん                        |
| 基幹定点(月報)      |                              |
| 40            | メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症            |
| 41            | ペニシリン耐性肺炎球菌感染症               |
| 42            | 薬剤耐性緑膿菌感染症                   |